News Release

報道関係各位

No. 26-0135R
2026 年 11 月 26 日
ヒューマンリソシア株式会社

［ヒューマンリソシア調査］人材動向レポート 2026 ～給与編～

日本の給与、5 年間で 12.0%増も、職種により伸びに差

～ 販売 18.9%増、事務 15.9%増、一方、専門・技術職は 10.5%増 ～

総合人材サービスを展開するヒューマンリソシア株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：高橋　哲雄、以下「当社」）は、職種別の人材動向を給与面から分析した結果を、「人材動向レポート 2026 ～給与編～」として発表します。

2020 年から 2025 年までの 5 年間の平均年収を調査したところ、日本の平均年収（※1）は 5 年間で 12.0%増と大きく伸びていることがわかりました。職種別にみると、販売が 18.9%増、事務が 15.9%増と大幅増となった一方で、専門・技術職は 10.5%増にとどまるなど、伸び率に差がみられました。

※1）一般労働者の「決まって支給される 1 カ月の現金給与額」×12 カ月に「年間賞与その他特別給与額」を加算し算出しています。

【本調査結果のポイント】

1.	給与 動向	日本の平均年収、2021 年から 5 年連続で増加、2020 年からの 5 年間で 12.0%増
2.	職種差	販売や事務、生産工程などが平均を上回る伸び、専門・技術職は 10.5%増にとどまる
3.	男女差	女性は 14.4%増と男性の 11.9%増を上回る伸び
4.	世代差	29 歳以下は 15%超の伸び、45～59 歳は全職種平均の 12.0%増を下回る

＜職種別人材動向レポート 2026＞

10 年間の 職種のシフトと給与の変化についての調査全編は、以下よりダウンロードいただけます。

●資料ダウンロードページ： https://corporate.resocia.jp/talent-market-report-2_2026

1. 本調査の概要

これまで、「人材動向レポート 2026」（※本レポート末尾参照）にて、2015 年から 2025 年までの 10 年間の産業別および職種別の人材構造の変化について分析してきました。職種別では、専門・技術職で働く就業者が 28.3%増える一方で、現場職は 0.8%増とほぼ横ばいとなるなど、職種によって人材構造の変化が異なることが明らかとなりました。

社会的な賃上げ要請が続く中、人材確保に向けた採用や定着においても、給与をはじめとした処遇の改善が、企業にとって大きなテーマとなっています。そこで、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」等のデータより、比較可能な 2020 年と 2025 年の職種分類別の平均年収を分析しました。その結果、国内の一般労働者の平均年収は 5 年間で 12.0%増となり、賃上げトレンドが統計データにも顕著に表れています。一方で、職種や性別、年齢によって、その傾向には大きな違いがみられました。

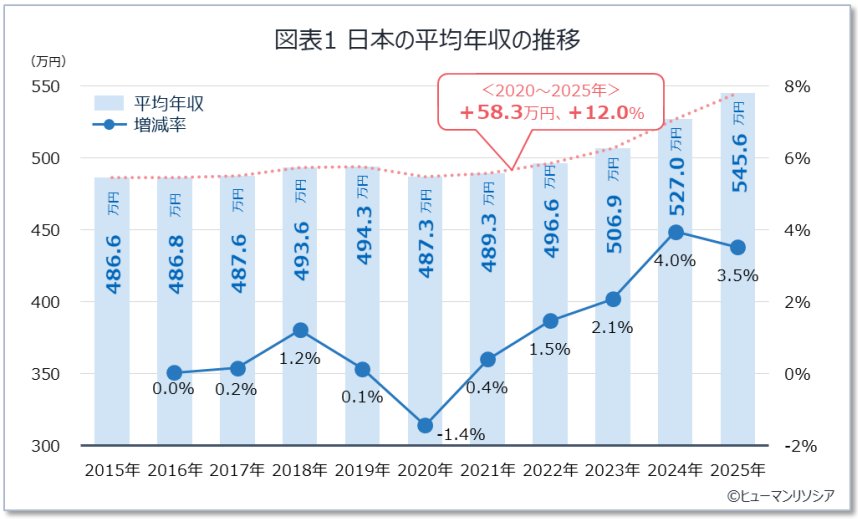
なお、調査内容および出典などの調査概要は、本レポート末尾に記載しています。

■本件に関するお問い合わせ■
ヒューマンリソシア株式会社　広報担当　吉田　E-mail：　resocia-pr@athuman.com

2. 調査結果のポイント

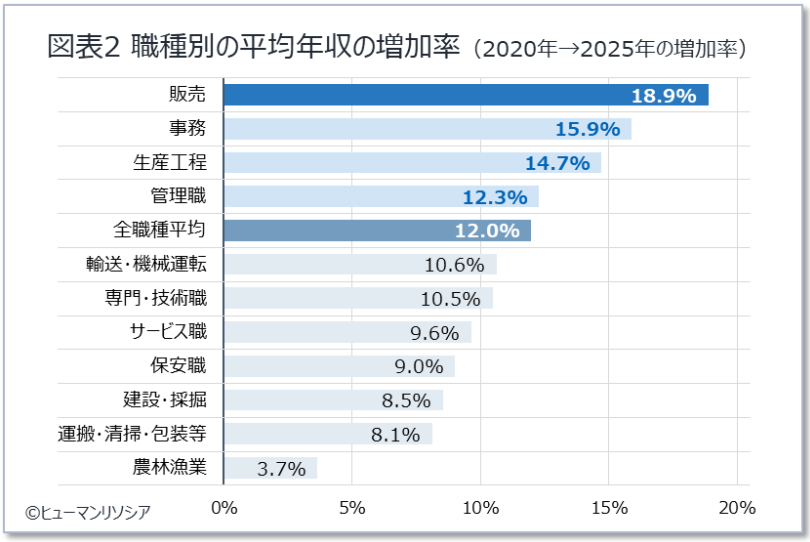
●日本の給与、2021 年から 5 年連続で増加し 5 年間で 12.0%増

日本の一般労働者の平均年収は、2015 年から 2020 年まではおおむね横ばいで推移したものの、2021 年以降は 5 年連続で上昇し、2020 年から 2025 年の 5 年間では、12.0%増となりました。



●職種別では、「販売」が 18.9%増で最も伸び、「事務」15.9%増、「生産工程」14.7%増が続く

職種別に比較可能な 2020 年と 2025 年の平均年収を比較すると、「販売」が 18.9%増と、増加率が最も高くなりました。次いで「事務」が 15.9%増、「生産工程」が 14.7%増となりました。一方で、前回の就業者編（※2）で、就業者数が 10 年間で 28.3%増と大きく増えた「専門・技術職」の平均年収は 10.5%増にとどまり、全職種平均の 12.0%増を下回っています。



なお、参考として、職種小分類で同期間の平均年収の増加率をみると（※3）、「タクシー運転者」が 50.5%増と最も高く、次いで「その他の経営・金融・保険専門職業従事者（経営コンサルタント等）」の 46.6%増、「システムコンサルタント・設計者」の 28.8%増が続きました。AI やデジタル技術の普及が進む中でも、人にしかできない仕事や、人による判断や提案、高度な専門性が求められる業務の重要性は引き続き高いと考えられます。

※2）参照：2026 年 11 月 5 日当社発表「人材動向レポート 2026 ～職種別就業者編～」。詳細は末尾に記載しています。
※3）2025 年の労働者数が 5 万人以上の職種のみを対象に集計しています。

■本件に関するお問い合わせ■
ヒューマンリソシア株式会社　広報担当　吉田　E-mail：　resocia-pr@athuman.com

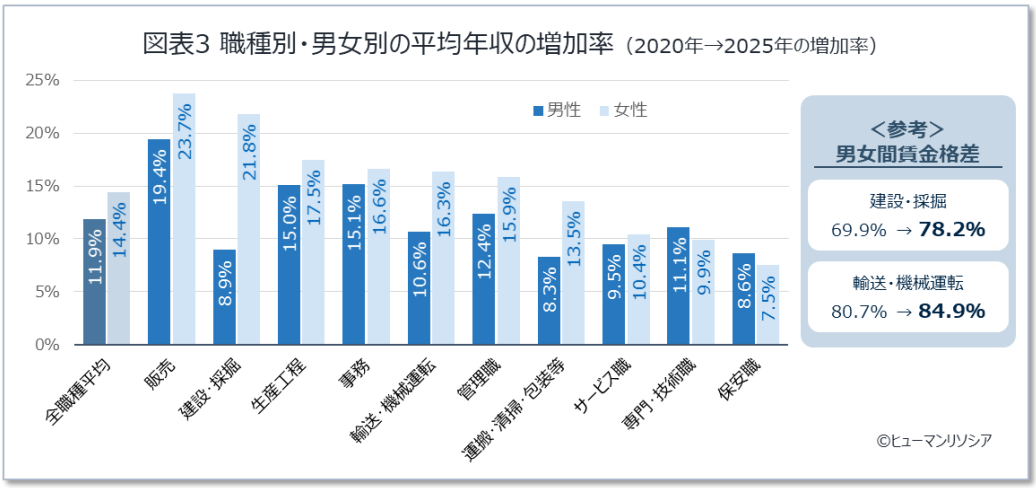
●女性の平均年収は 14.4%増、男性の 11.9%増を上回る

男女別に 5 年間の平均年収の推移をみると、全職種平均では男性が 11.9%増、女性が 14.4%増となり、女性の伸び率が男性を 2.5 ポイント上回りました。

職種別にみると、「建設・採掘」が男性 8.9%増に対して女性 21.8%増、「輸送・機械運転」が男性 10.6%増に対して女性 16.3%増となりました。さらに、男女間賃金格差（100%に近いほど男女間の格差が小さい、※4）をみると、「建設・採掘」では 69.9%から 78.2%へ、「輸送・機械運転」では 80.7%から 84.9%へと、男女間での平均年収の差が縮小していることがわかりました。

一方で、就業者数が大きく増えている「専門・技術職」（※2）では、男性 11.1%増、女性は 9.9%増にとどまっており、職種によって男女の伸び方にも違いがみられました。

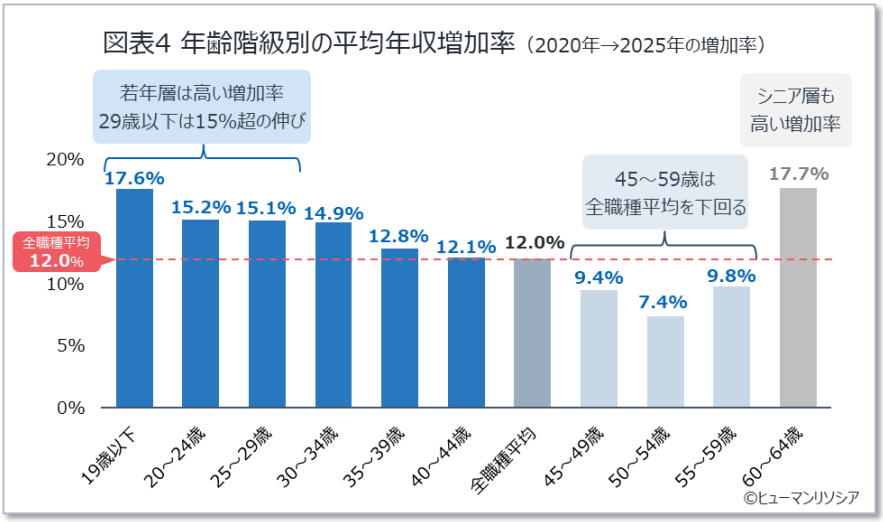
※4）男女間賃金格差は、各職種における女性の平均年収÷男性の平均年収×100 で算出しています。



●29 歳以下の若年層はいずれも 15%超の伸び、45～59 歳では全職種平均を下回る

平均年収を年齢別にみると、5 年間での増加率が最も高かったのは 60～64 歳で、17.7%増でした。次いで 19 歳以下が 17.6%増、20～24 歳が 15.2%増、25～29 歳が 15.1%増となり、29 歳以下の若年層は平均を大きく上回る伸びとなりました。

一方、45～49 歳は 9.4%増、50～54 歳は 7.4%増、55～59 歳は 9.8%増にとどまり、45～59 歳の中堅・ベテラン層においては、平均年収は伸びているものの、いずれも全職種平均の 12.0%増を下回っています。このように、平均年収の伸び率は年齢によっても違いがみられました。



■本件に関するお問い合わせ■
ヒューマンリソシア株式会社　広報担当　吉田　E-mail：　resocia-pr@athuman.com

【調査概要】

調査対象　：

以下の職種大分類（本文ではカッコ内の略称にて表記）の平均年収について、集計・分析しています。
なお、平均年収は一般労働者（期間を定めずに雇われている、または 1 カ月以上の期間を定めて雇われている常用労働者のうち、短時間労働者以外の者）の「決まって支給される 1 カ月の現金給与額」×12 カ月に、年間賞与その他特別給与額を加算し算出しています。

1.管理的職業従事者（管理職）、2.専門的・技術的職業従事者（専門・技術職）、3.事務従事者（事務）、4.販売従事者（販売）、5.サービス職業従事者（サービス職）、6.保安職業従事者（保安職）、7.農林漁業従事者（農林漁業）、8.生産工程従事者（生産工程）、9.輸送・機械運転従事者（輸送・機械運転）、10.建設・採掘従事者（建設・採掘）、11.運搬・清掃・包装等従事者（運搬・清掃・包装等）

使用データ　：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」等

分析項目　：職種別（不詳を除く大分類および小分類）、男女別、年齢階級別の分析

データ年　：2015 年～2025 年（職種別・男女別・年齢階級別の比較は 2020 年～2025 年）

【人材動向レポート 2026 について】

本調査全編は、以下よりダウンロードいただけます。

＜職種別人材動向レポート 2026＞

10 年間の 職種のシフトと給与の変化についての調査全編は、以下よりダウンロードいただけます。

●資料ダウンロードページ： https://corporate.resocia.jp/talent-market-report-2_2026

また、本レポートは、「人材動向レポート 2026」として、国内で働く就業者の実態を、産業別および職種別に分析したものです。これまで発表したレポートは以下となります。

1: 主要 15 産業の人材動向レポート（2026 年 8 月 27 日発表）
「主要 15 産業で人材構造に違い、人材確保にも産業差 ～情報通信は新卒就職者比率、宿泊・飲食は転職入職者比率が高く、建設はシニア層が若年層を上回る～」

2: 主要 15 産業の人材動向レポート／10 年変化編（2026 年 9 月 3 日発表）
「日本の働き手、10 年間で情報通信や医療・福祉などへシフト ～情報通信 44.5%増、専門・技術サービス 26.2%増、医療・福祉 20.8%増～」

3: 人材動向レポート 2026 ～職種別就業者編～（2026 年 11 月 5 日発表）
「日本の働き手、10 年間で専門・技術職へシフト ～専門・技術職 28.3%増、技術者 42.1%増、一方現場職は 0.8%増にとどまる～」

＜ヒューマンリソシアについて＞

総合人材サービス会社として、人材派遣、人材紹介、デジタル活用による BPO（BPaaS）、DX ソリューションの導入・活用支援を全国 27 拠点で展開しています。1988 年創業以来、教育事業を基盤とするグループの強みを活かし、社会に必要とされる人材を育成し、活躍する機会を提供してきました。近年は、AI・RPA などデジタル技術を活用し、生産性向上や業務変革支援にも注力しています。人材サービスとデジタル活用を組み合わせ、企業の人材課題の解決と、労働人口減少という社会課題の解消に向けた取り組みを進めています。

●ヒューマンリソシア Web サイト： https://resocia.jp

■本件に関するお問い合わせ■
ヒューマンリソシア株式会社　広報担当　吉田　E-mail：　resocia-pr@athuman.com

＜ヒューマングループについて＞

1985 年の創業以来「為世為人」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開。国内 340 拠点以上、海外 4 カ国 5 法人のネットワークによる独自のシナジーを活かし、深刻な労働人口減の解決に挑んでいます。「海外人材の活用」、「成長産業分野の専門教育と労働移動」、「介護・保育による国内労働力の確保」、「AI・DX による生産性向上」を通じ、時代に即した労働環境の革新と質の高いサービスを提供します。

●ヒューマンホールディングス Web サイト： https://www.athuman.com/

会社概要

ヒューマンリソシア株式会社

●代表取締役： 高橋 哲雄　●所在地： 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
●資　本　金： 1 億円　●ＵＲＬ： https://resocia.jp

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンリソシア株式会社 広報担当 吉田
E-mail： resocia-pr@athuman.com
■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail： kouhou@athuman.com